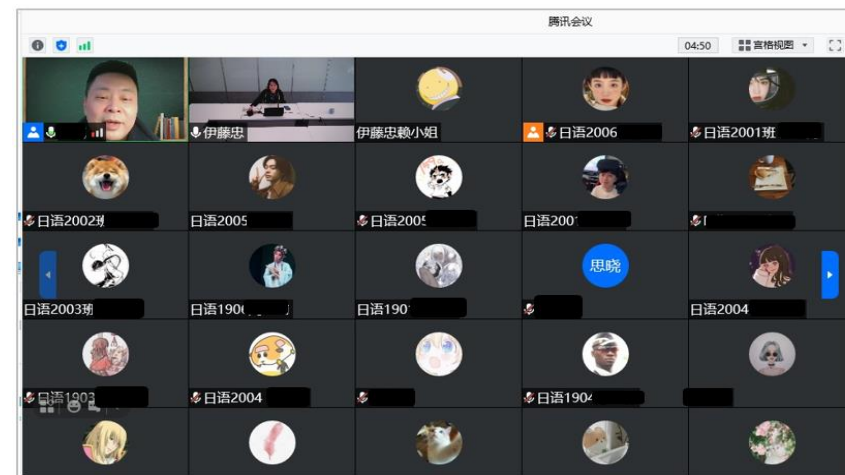




【次世代育成】学校と企業の交流---教育の発展を共に推進

伊藤忠の社会貢献活動の基本方針の一つである「次世代育成」を踏まえ、2022年1月11日に広州伊藤忠は華南地区随一の大学である広東外国語对外貿易大学からの招待を受け、学生との実践的交流活動に参加しました。広州伊藤忠は大学との交流の機会を積極的に支持しており、同大学と何度も提携をし、在学中の日本語学部の学生に商社のビジネスモデル、業務内容および求める人材像などを紹介しました。また、伊藤忠のサステナビリティの理念と実践を共有し、社会環境の持続可能な発展に向けて学生の関心と支持をアピールしました。新型コロナの影響によりオンラインでの実施となりましたが、総勢240名以上の学生が参加し、過去最多を記録しました。

今回の活動を通じて、学生たちに伊藤忠が展開する事業のみならず、社会貢献活動の重要性も深く理解してもらうことができました。今後、同様の機会を通じて、ビジネスマナー、財務知識、マーケティングなどのより社会で必要とされる実践的なノウハウを伝え、次世代育成に貢献をしていきたいと思えます。





【次世代育成】 Kids Day---子供の頃から、地球を保護しよう

2022年度「次世代育成」をテーマとした社会貢献活動として、7月-8月の夏休み期間を利用し、北京伊藤忠、青島伊藤忠、上海伊藤忠、広州伊藤忠、香港伊藤忠にて第一回Kids Day活動を開催しました。主に従業員の小学生の子供たちが多く参加をしました。営業、職能部門の社員の協力のもと、オフィス環境の見学、SDGs(持続可能な開発目標)の紹介、環境保護の一般的な知識と伊藤忠中国が推進する環境保護に貢献する業務内容紹介、環境保護に関連する工作などを実施しました。活動を通じて、子供たちは持続可能な発展の概念を学ぶとともに、SDGsの各項目の内容を深く理解しました。フィードバックでは、子供たちと従業員たちからこの活動に対する高い支持を受け、自宅でも本活動で学んだ環境保護の理念を親と共有することができました。今後もこのような有意義な活動を続けてまいります！





【環境保全】心を温め、真心を送り届ける

伊藤忠はサステナビリティを企業の果たすべき責任と捉え、「資源は有限であり、循環利用は無限」という考えを踏まえ、22年度も各地の公益機関に大量の衣類を寄付しました。本寄付活動を通じて、衣服を必要とする人々の身体と心を温めるとともに、我々の思いやりの気持ちを感じてもらえることを願っています。伊藤忠中国各社の協力のもと、今回は合計785 kgの古着を寄付し、省エネ・排出ガス削減にも貢献しました。



我们的成果

实际捐赠**785kg**旧衣



1kg旧衣回收：
可降低**3.6kg**碳排放，相当于节约**6.82**度电，节约**5.88**立方米水





【環境保全】環境保護週間---リサイクル、低炭素生活

香港伊藤忠と広州伊藤忠の二社は毎年、内容豊かでクリエイティブな「環境保護週間」を開催しました。様々な活動に参加することで、従業員たちに環境保護の重要性を深く認識させ、環境保護への意識を高める良い機会になりました。

2022年9月、香港伊藤忠は「リサイクル、低炭素生活」の理念を宣伝するため、社内で食品、飲料の包装箱などの各種廃棄物の回収活動を実施し、回収廃棄物を専門回収機構に寄付しリサイクルしました。また、従業員の健康意識を高め、低炭素社会や二酸化炭素排出削減のライフスタイルを宣伝するために、従業員一人一人にベジタリアンランチを用意しました。

2022年8月、広州伊藤忠ではアリペイの「螞蟻森林」アプリ上で「広州伊藤忠の植樹」プロジェクトを設立し、仮想の木を植えました。歩行、公共交通機関の利用、ネットで水道・電気・ガス料金を納付することなどを通じて、二酸化炭素排出量を減らし、その結果で得たエネルギーで「植樹」に水やりをし、仮想の木を成長させるという内容です。また、仕事のほかにオフィスで健康体操コースを開設し、従業員に栄養のバランスを整えたベジタリアンランチやフルーツを用意し、従業員に健康、低炭素生活の重要性を意識させました。

「環境保護週間」の期間は短いものの、従業員に健康的で環境にやさしい生活理念を周知することで、従業員の「リサイクル、低炭素生活」の意識醸成が達成できたと思います。





【地域貢献】田舎に読書の声を届ける---書籍寄付活動



伊藤忠中国は、伊藤忠グループの企業理念である「三方よし」の精神に基づき、持続可能な社会の実現に貢献しています。毎年9月から11月を伊藤忠中国における社会貢献活動シーズンと設定しており、2022年度も各現地法人において、「田舎に読書の声を届ける」と各種書籍寄付活動を実施しました。現地の公益機関が開催した寄付プロジェクトに参加することを通じて、回収した数百冊の図書を山間部に住む貧しい学生たちに寄付しました。それと同時に、日本本社の「外国語絵本寄贈プロジェクト」にも参加し、日本に住む外国人の子供たちに中国語の絵本を読むことができるように、日本の滋賀県県立図書館に数十冊の中国語絵本を寄贈しました。多くの子供たちが読書の楽しみを知り、視野を広げ、心がより豊かになれば幸いです。今後も様々な公益事業に参加して参ります。





【地区貢献】希望の木を植え、土地を幸福に---ウォーキングイベント

SDGsへの貢献・取組強化の活動の一環として、2022年10月、伊藤忠中国の各現法において第4回全社ウォーキングイベントを開催しました。ウォーキングを通して、社員の健康習慣作り及び健康管理意識を高めてもらうことを目的とします。「いつもよりちょっと多く歩いてみる」を意識し、特に通勤や買い物等の日常生活の中で、取り組んでもらいました。300名程度の従業員が参加、毎日コツコツとウォーキングを継続した結果、計236人が1か月間で総歩数30万歩(54 kgの炭素排出量を削減)を達成しました。また、今回のイベントでは3万歩毎にSDGsに関するクイズが出題され、楽しくウォーキングをする中でSDGsへの知識を深めるきっかけにもなりました。中国緑化基金会在主催する「幸福の家---希望の木を植える」プロジェクトにも参加し、参加者が歩いた総歩数をもとに、寧夏回族自治区にクコの木708本(総歩数30万歩で3本の植樹)を寄付し、農村の発展と土地の砂漠化防止にも貢献しました。



708本の木
を寄付





【地区貢献】SDGs写真コンテスト

2023年3月、伊藤忠各社が第1回SDGsテーマ写真コンテストを開催しました。皆さんの身の回りにあるSDGsにちなんだ風景を撮影することで、地球環境を持続的に改善することの重要性を意識いただくことが趣旨です。SDGs目標の内、目標3の「すべての人に健康と福祉を」、目標11の「住み続けられるまちづくりを」と目標15の「陸の豊かさも守ろう」をテーマに作品を提出いただきました。従業員たちの積極的な応募もあって、70枚の参加作品を受け取りましたが、どの作品の内容も非常に豊富でした。健康的なライフスタイル、幸せな生活状態等を表現する作品もあれば、都市の日進月歩の発展、及び都市が急速に拡大している中で、様々な問題が発生している様子等を表現する作品もあり、また、植林等の活動を通じて、陸地及び生態系の保護、改善、回復することなどを表現する作品もありました。この活動を通じて、従業員のSDGsに対する認知を深めただけでなく、地球を守ることを身近に意識させ、住み続けられるまちづくりを構築するには自ら始め、身近なところから始めなければならないことを実感させることができました。

